

アレルギー疾患対策に関する 状況の調査（結果報告）

平成28年6月21日

 厚生労働省 健康局 がん・疾病対策課

本調査について

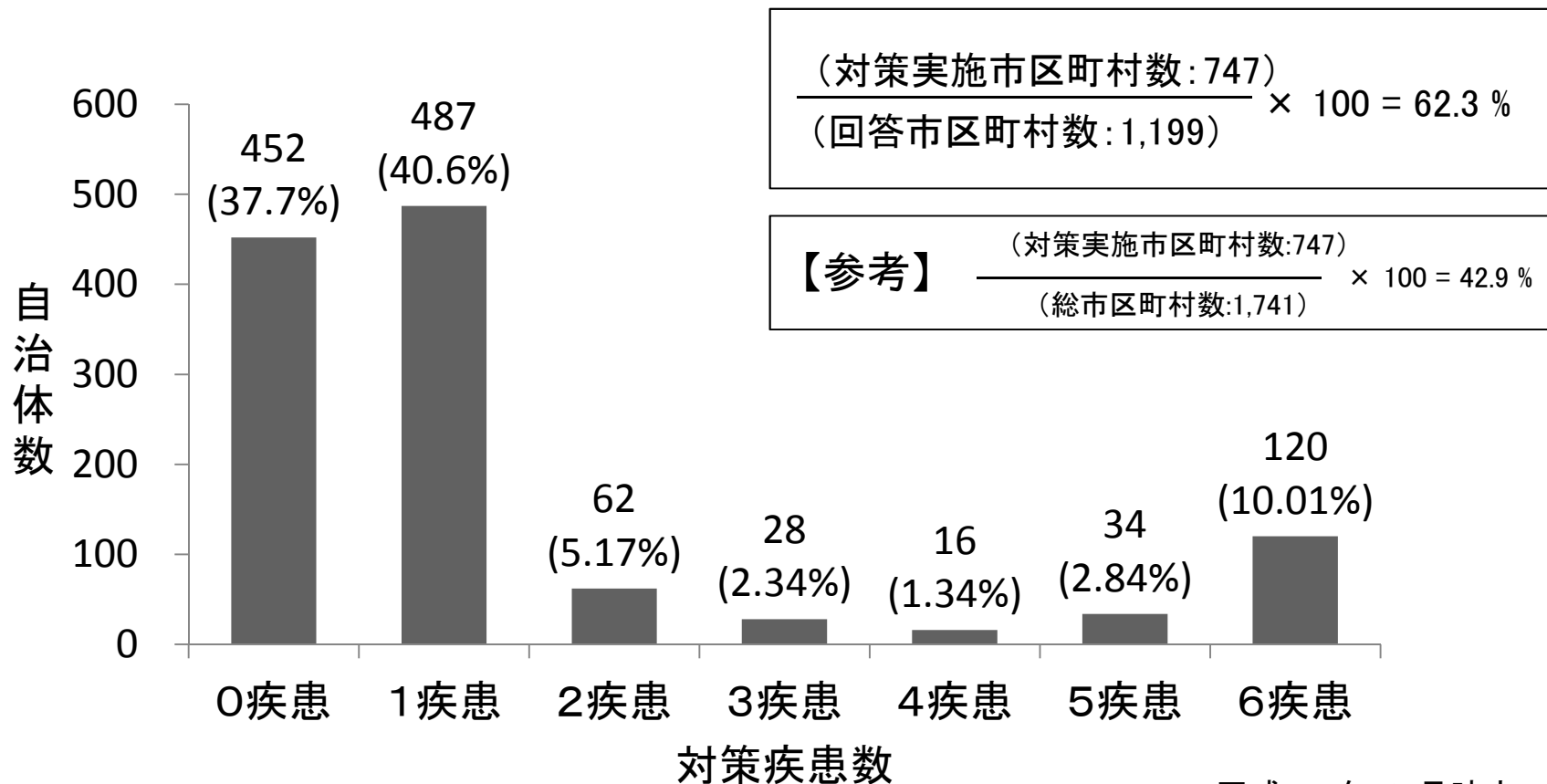
- 各市区町村における取組の状況について、調査※¹を行った。
- 目的：全国の市区町村における、アレルギー疾患※²に関する具体的な取組についての実態を把握する。
- 対象：全市区町村（n=1,741）
- 方法：都道府県を通じて調査票を配布し、回答があったものを集計・解析した（平成27年度末時点）。
- 回収率：68.9%※³

※1 健が発0229第1号（平成28年2月29日）アレルギー疾患対策に関する状況の調査について（依頼）

※2 アレルギー疾患対策基本法に定められた、気管支ぜん息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、花粉症、食物アレルギーを指す。

※3 全国1,741市区町村のうち、平成28年3月31日までに回答が得られた1,199市区町村（68.9%）を、解析対象とした。

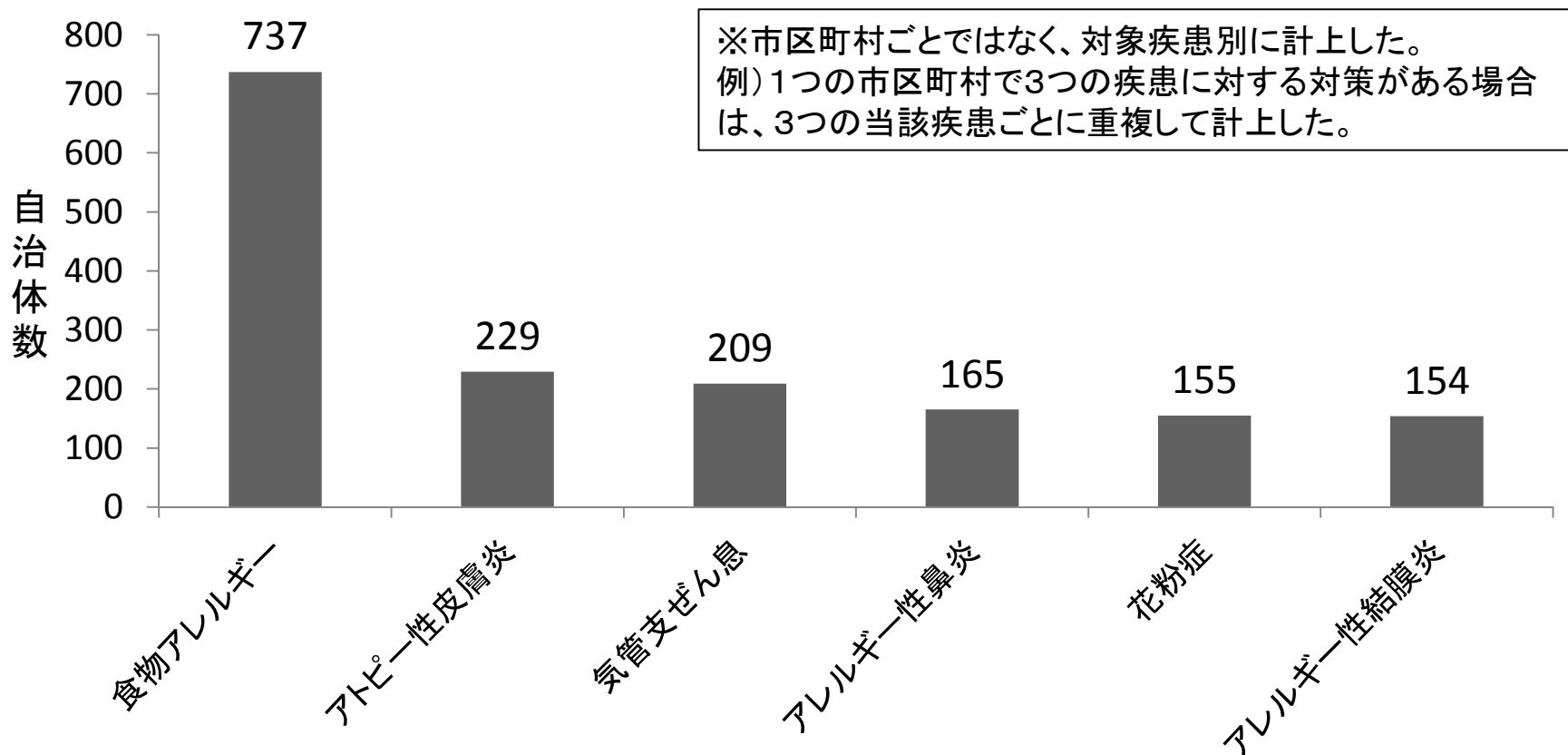
対策実施自治体数(対象疾患数別)



* 平成 28 年 3 月時点

何らかの対策を講じている自治体は、回答のあった市区町村の62.3%だった。
対策を講じている自治体のうち、65.2%が1疾患のみを対象としていた。

対策実施自治体数(疾患別)



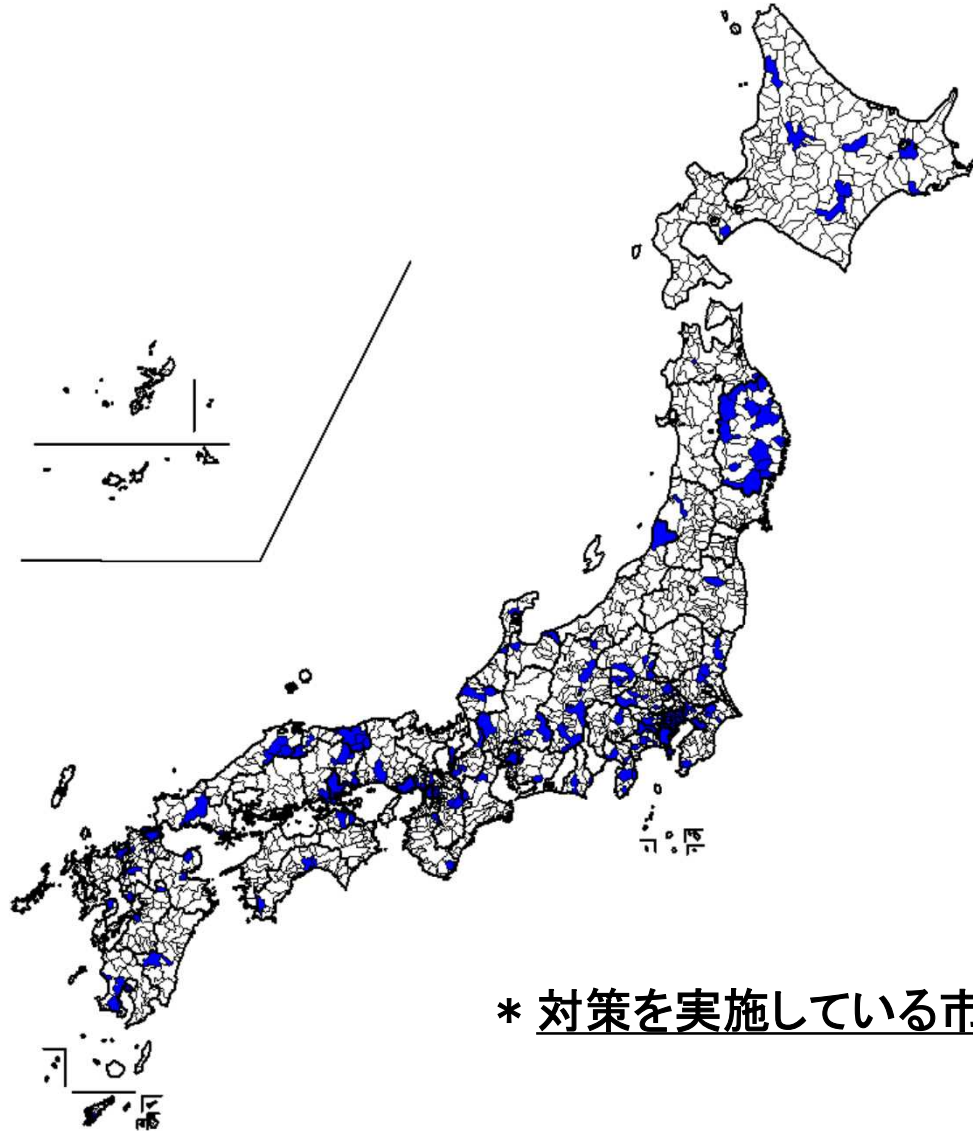
* 平成 28 年 3 月時点

対象疾患は、食物アレルギーが最多だった。

食物アレルギーを除く5疾患に関しては、実施状況に大きな差はなかった。4

気管支ぜん息の対策を実施している 自治体MAP

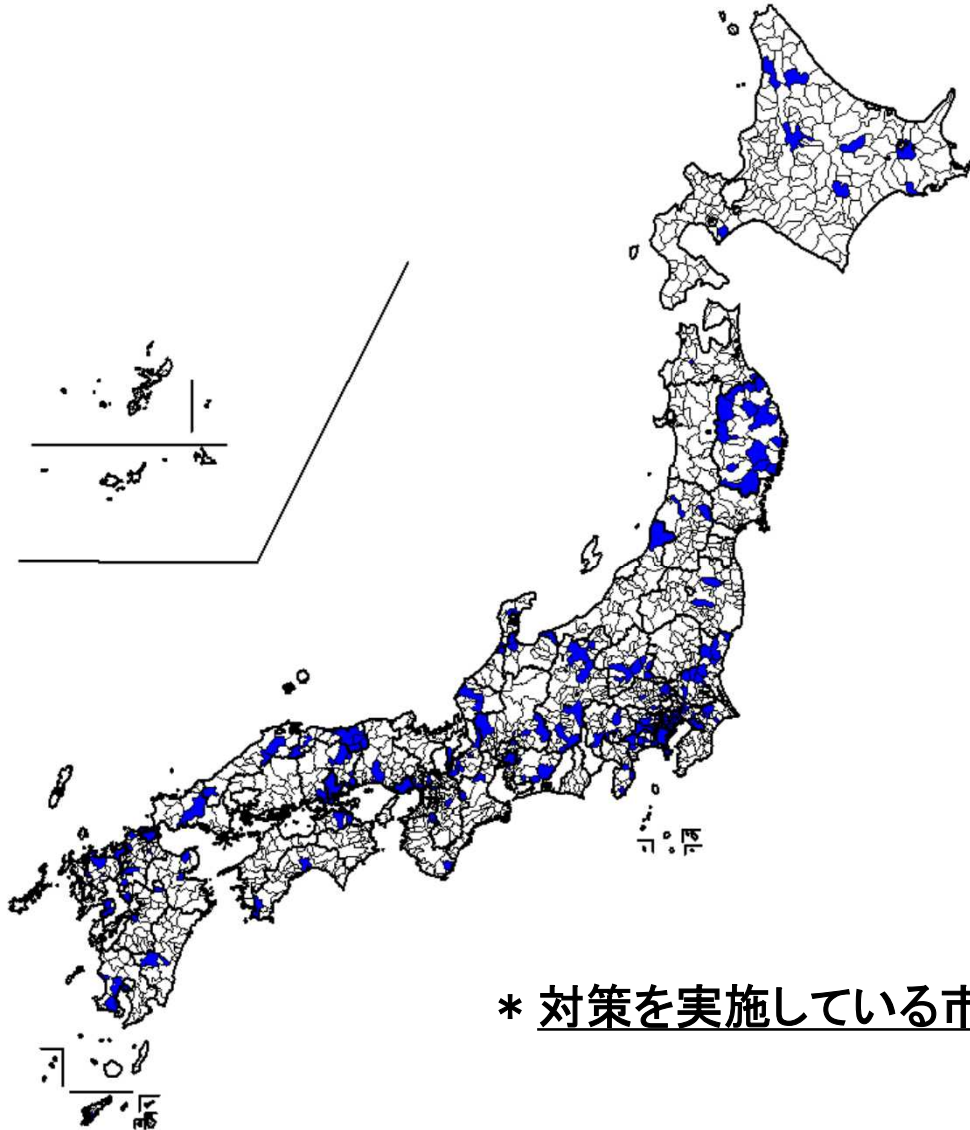
* 平成 28 年 3 月時点



* 対策を実施している市区町村を青で表示

アトピー性皮膚炎の対策を実施している 自治体MAP

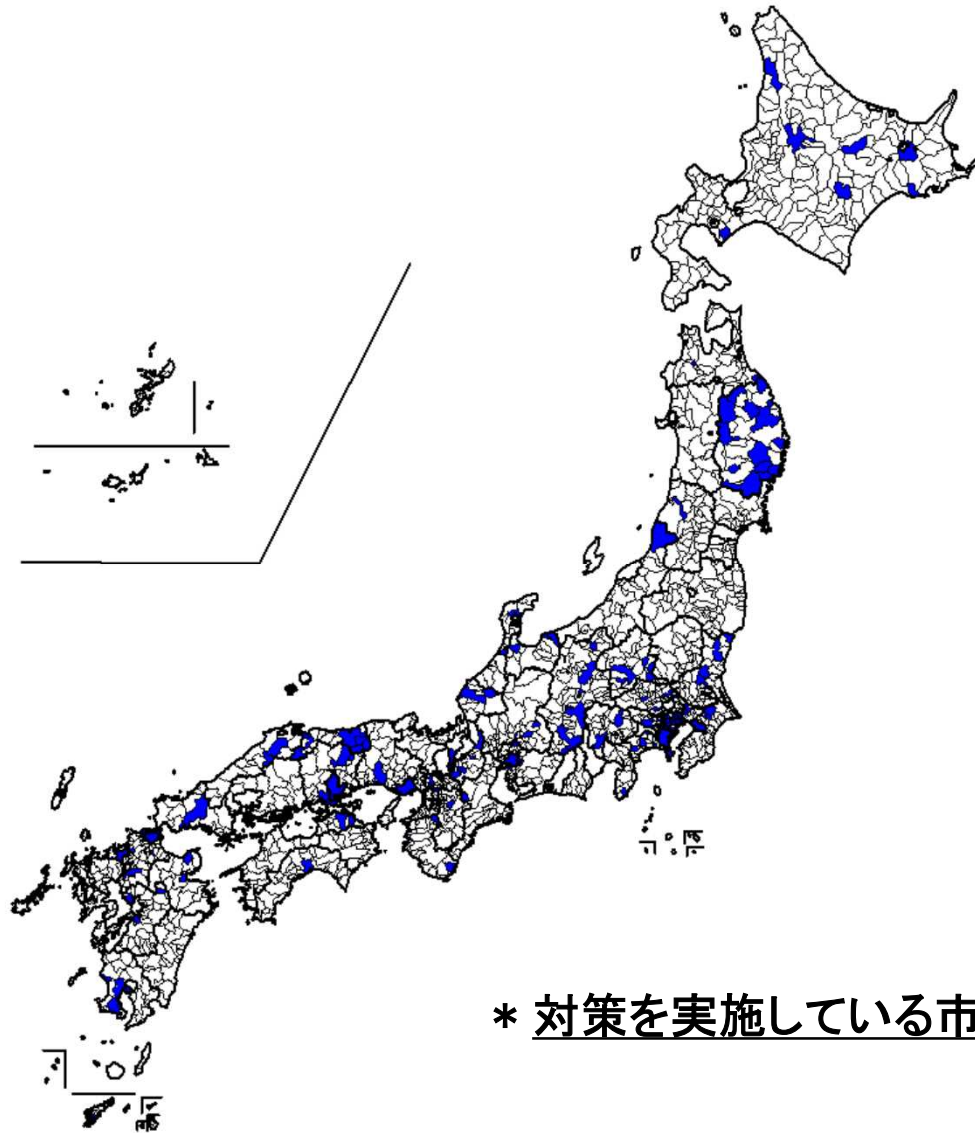
* 平成 28 年 3 月時点



* 対策を実施している市区町村を青で表示

アレルギー性鼻炎の対策を実施している 自治体MAP

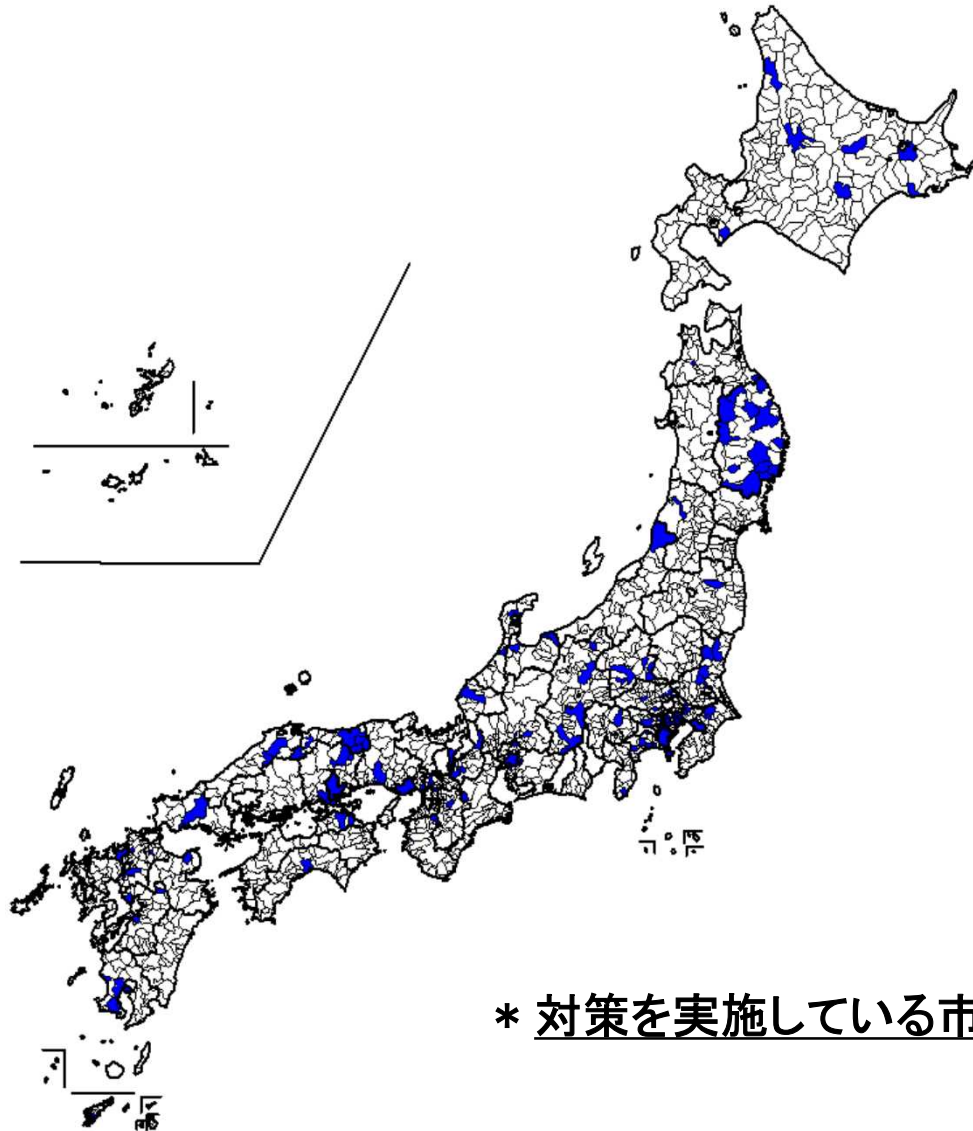
* 平成 28 年 3 月時点



* 対策を実施している市区町村を青で表示

アレルギー性結膜炎の対策を実施している 自治体MAP

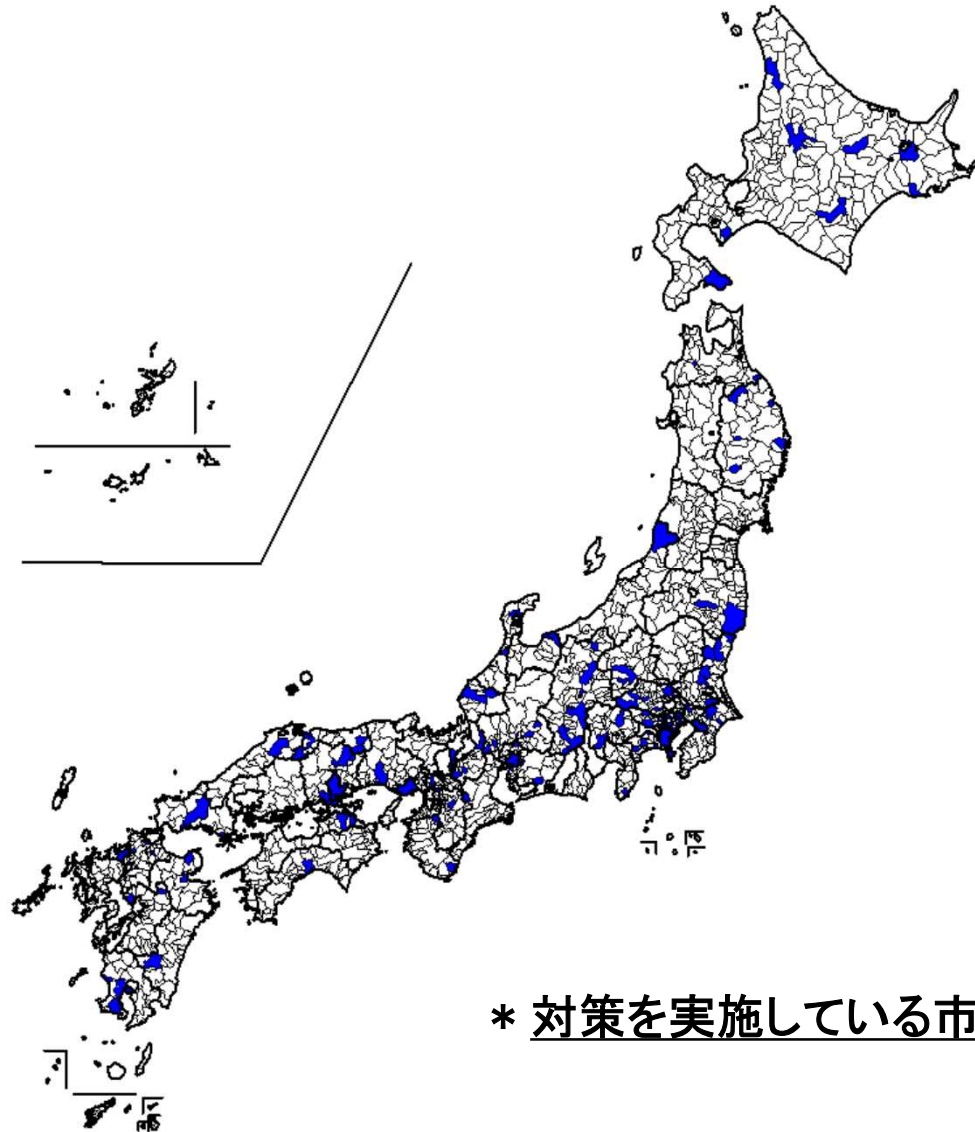
* 平成 28 年 3 月時点



* 対策を実施している市区町村を青で表示

花粉症の対策を実施している 自治体MAP

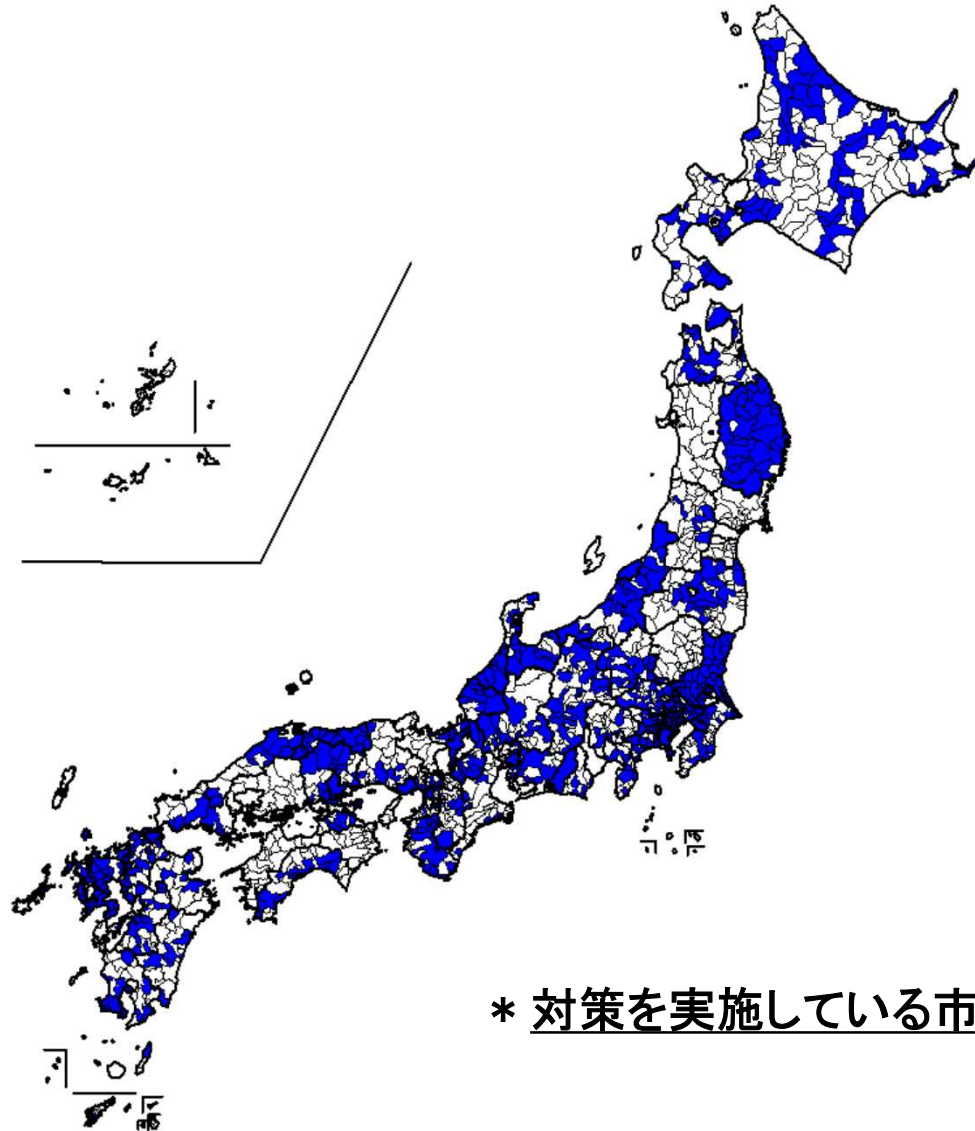
* 平成 28 年 3 月時点



* 対策を実施している市区町村を青で表示

食物アレルギーの対策を実施している 自治体MAP

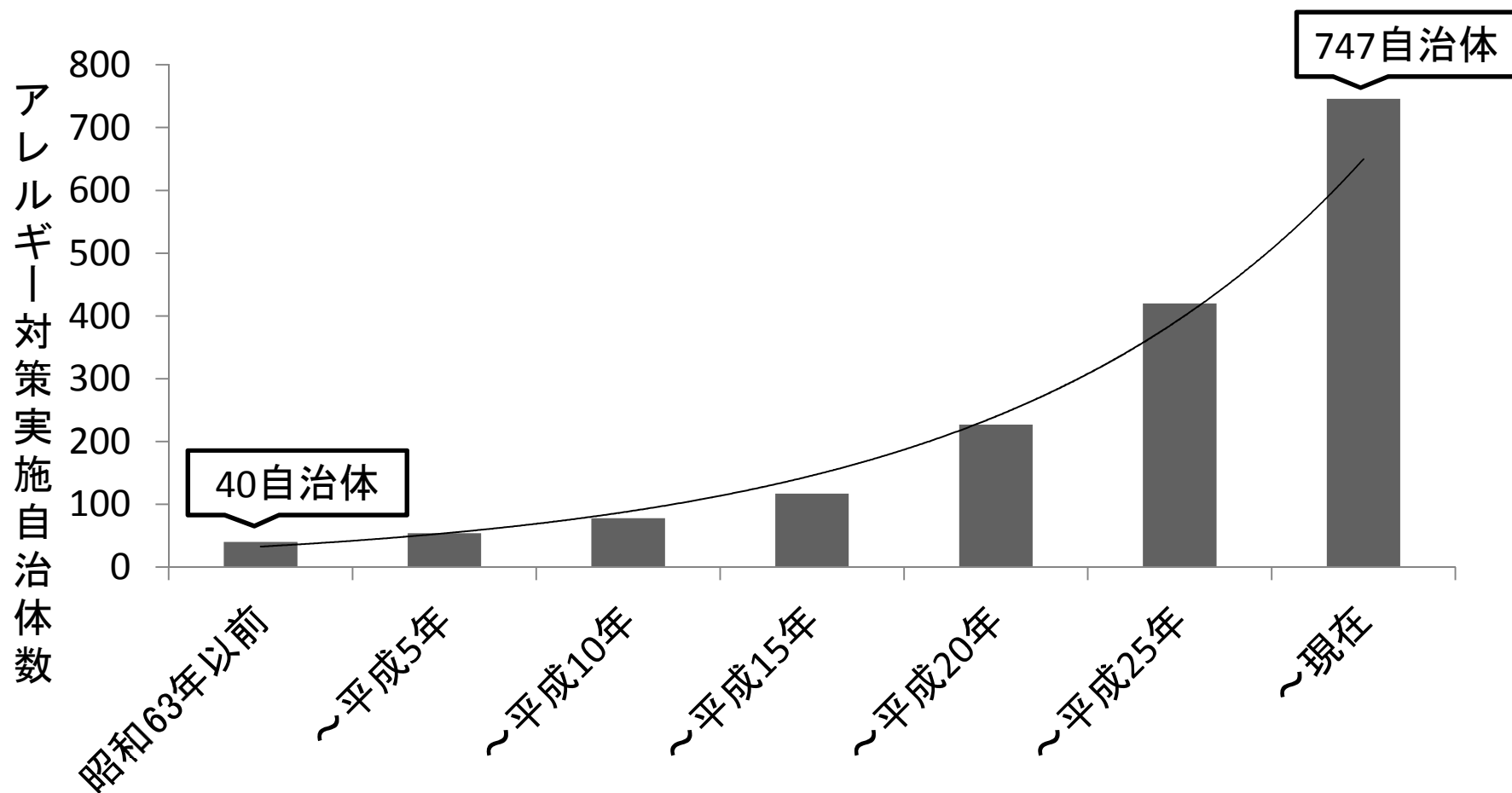
* 平成 28 年 3 月時点



* 対策を実施している市区町村を青で表示

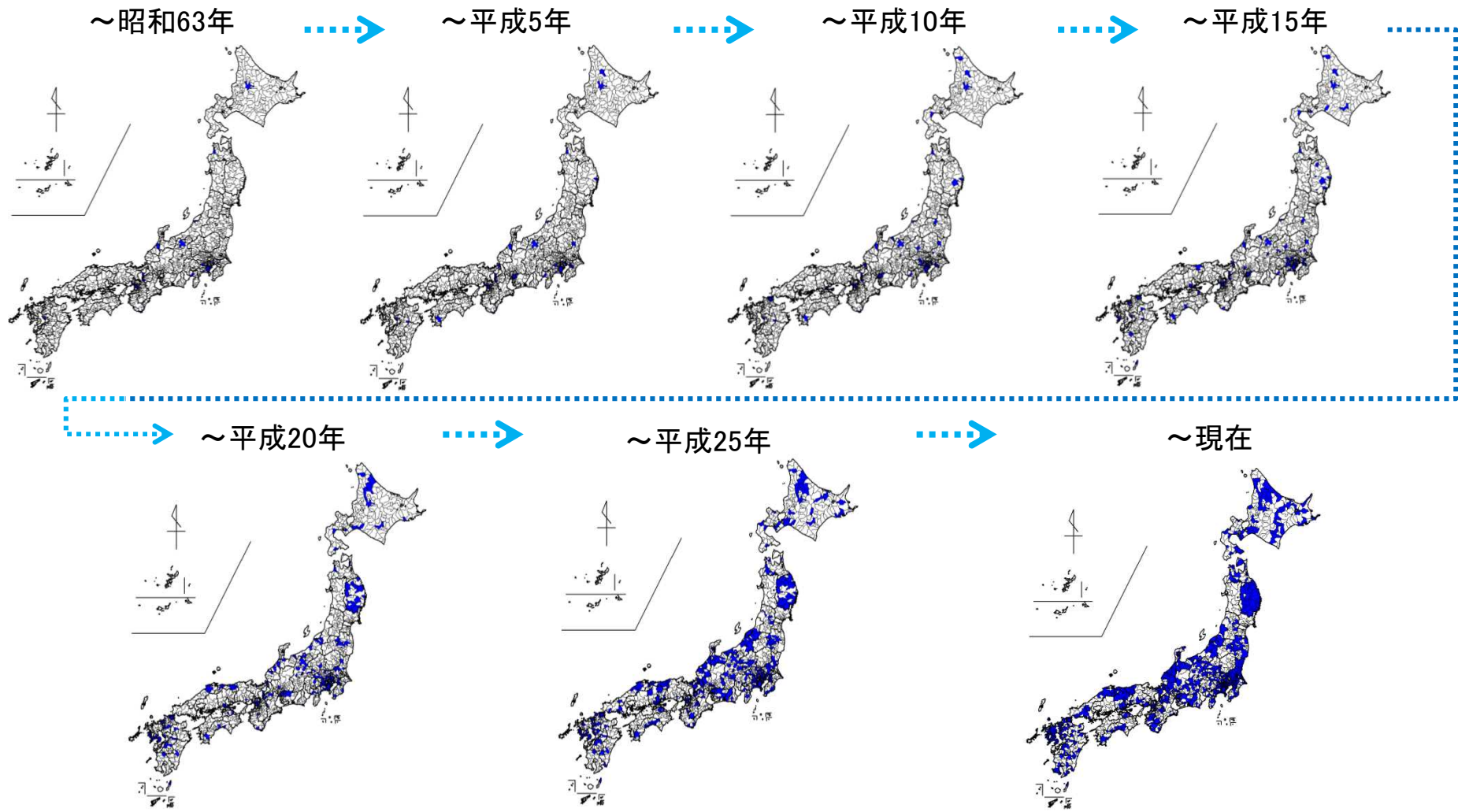
対策実施自治体数の経年経過

※対象疾患や対策内容を問わず、アレルギー疾患対策を開始した年を計上した。



* 自治体数は、全国地方公共団体コードを用い、平成28年現在の市区町村数から計上した。過去の合併等による自治体数の増減は反映されていない。

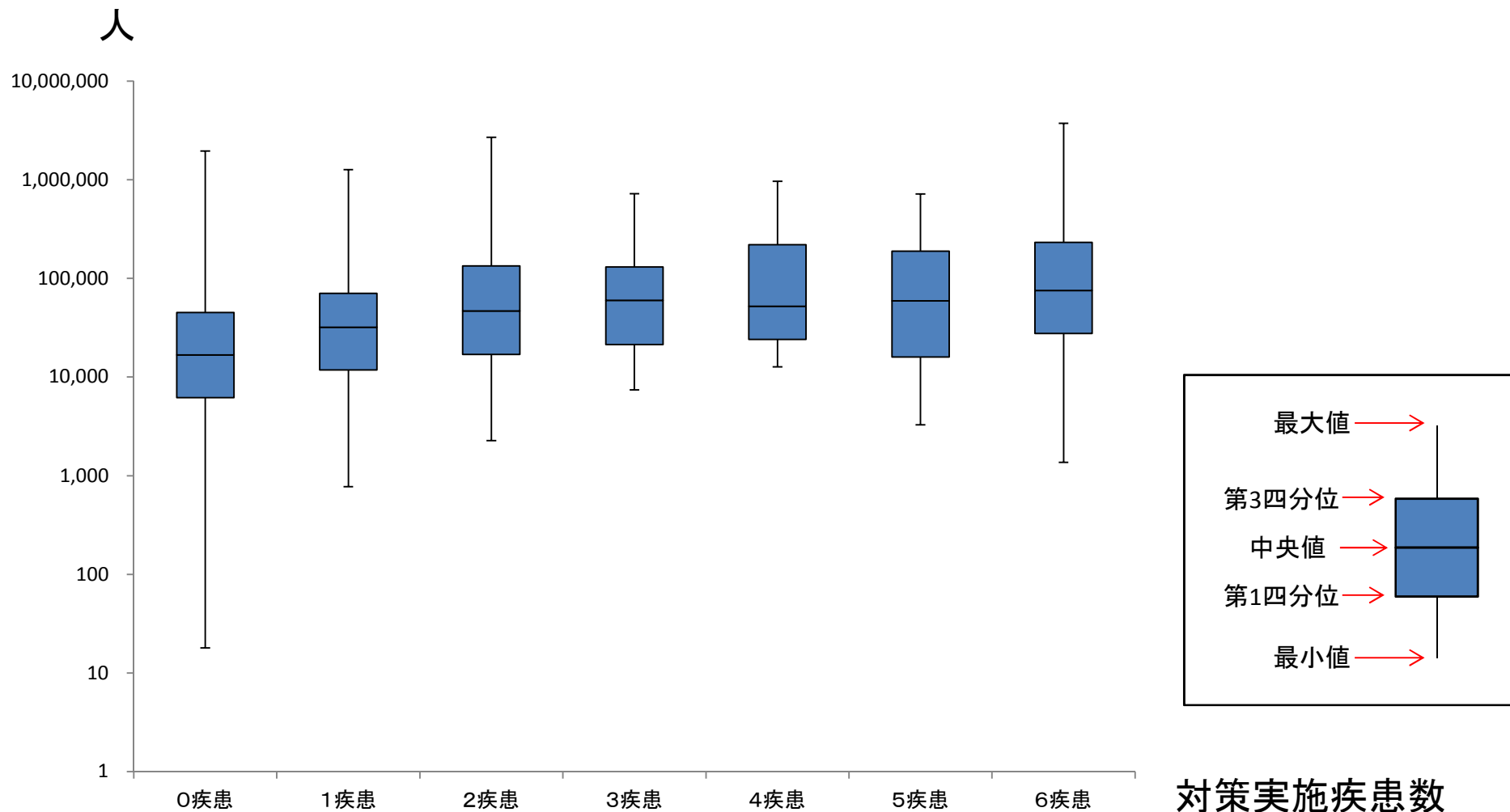
アレルギー疾患対策実施自治体MAP (経年推移)



* 自治体数は、全国地方公共団体コードを用い、平成28年現在の市区町村数から計上した。過去の合併等による自治体数の増減は反映されていない。

対策実施疾患数別 自治体人口分布

* 平成 28 年 3月時点



アレルギー疾患対策の実施状況と、自治体の規模(人口)に、
明らかな相関はない。

※人口は平成27年度国勢調査人口速報集計を使用

結果のまとめ

- ①全国47都道府県にアンケートを配布し、41都道府県から回答があった(解析対象は1,199市区町村、回収率68.9%)。アレルギー疾患対策基本法に定められた6疾患(気管支ぜん息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、アトピー性皮膚炎、花粉症、食物アレルギー)に関して、何らかの対策を講じている自治体は、回答があった市区町村の62.3%だった。
- ②アレルギー疾患対策を講じている自治体のうち、半数以上は1疾患のみの対策に止まっており、対象疾患はほとんどが食物アレルギーだった。
- ③何らかのアレルギー疾患対策を講じている自治体数は増加している。
- ④アレルギー疾患対策の実施状況と、自治体の規模に、明らかな相関はなかった。

個別例の紹介①

【富山県：学校におけるアレルギー疾患対策】

富山県は、独自のソフト「学校保健統計システム」を活用し、全児童の健康診断の結果をまとめている。

（調査項目：気管支ぜん息、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、アトピー性皮膚炎、食物アレルギーの罹患者数等）

また、全児童の健康実態を把握し、各学校の健康教育や、地域の学校保健行政の基礎資料として、冊子「学校保健統計調査のあらまし」を発行・配布している。

個別例の紹介②

【愛知県津島保健所：

海部地域あれるぎっ子サポートチームプロジェクト】

《地域健康課題対応事業》

※津島保健所管内：津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村

食物アレルギー疾患児とその家族に対し、関係機関（管内医師会、NPO法人、管内保健機関、管内児童福祉関係機関、管内教育委員会、県教育事務所等）が連携し、関係機関連携会議、アンケート調査の実施、エピペン講習会の開催、保護者向けリーフレットの作成、活動報告書の作成、食物アレルギー地域相談会等を開催している。

個別例の紹介③

【愛知県名古屋市：小児向けアレルギー医療の取り組み】

西部医療センターに設置した小児アレルギー科において、アレルギー疾患児に対する医療及びアレルギー専門医の育成を行っている。

《平成26年度実施状況》

- ・アレルギー性疾患児に対する、医療提供や生活環境指導、食事指導を実施
- ・食物経口負荷試験を実施
- ・アトピー性皮膚炎スキンケアスクールを実施

・**個別の実態調査を実施**: 岩手県山田町、山形県山形市、群馬県渋川市、新潟県関川市、埼玉県ふじみ野市、神奈川県川崎市、富山県、滋賀県湖南市、福岡県福岡市 等

・**アレルギー対応ホットライン**: 東京都調布市、東京都狛江市、東京都西東京市 等

・**ヒヤリハットの集積**: 茨城県つくば市、新潟県、千葉県八千代市、岐阜県、愛知県、広島県尾道市、山口県、熊本県 等

・**アレルギーカードの使用**: 群馬県藤岡市、千葉県 等

・**学校、保護者、消防等の連携**: 北海道伊達市、岩手県大槌町、和歌山県海南市、奈良県十津川村、福岡県大刀洗町 等

・**食物アレルギーバッジ配布(乳幼児向け、希望者)**: 新潟県糸魚川市 等

・**アレルギー対応食(離乳食含む)の実演**: 東京都町田市、愛知県愛知郡東郷町、愛知県春日井市、愛知県大府市、和歌山県高野町、徳島県勝浦町 等

・**保育園誤配防止**: 長野県飯田市 等

・**エピペンの使い方(手話対応)**: 愛知県安城市 等

・**救急救命士養成**: 埼玉県 等